

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
農林水産大臣  
経済産業大臣  
環境大臣

} あて

広島市議会議長名

### 持続可能なカキ養殖の支援を求める意見書案

広島県は全国一のカキ産地として知られ、本市においても、草津、江波、仁保、似島、船越、矢野の各地区でカキ養殖業者が事業を営み、広島湾を中心に養殖が盛んに行われています。令和5年のむき身カキの生産量（推計）をみると、広島県は全国の約6割を占めており、このうち、本市は広島県全体の約2割となっています。

カキは、お好み焼きと並んで本市の食文化を代表する観光コンテンツであるとともに、広島市内はもとより全国各地の家庭や飲食店で広く消費されており、カキ養殖業は本市水産業の中核を担っています。

しかしながら、本年9月以降、養殖カキが大量にへい死するという、過去に例のない規模の被害が発生し、本市のカキ養殖業は極めて深刻な状況に陥っています。同様の状況は県内各地にも広がっていますが、現時点では原因は特定されていません。来年以降も同様の被害が発生する可能性は否定できず、早急な原因究明が不可欠です。

本格的な水揚げはこれからであり、被害の全容判明もこれからとなります。十分な収穫量が見込めない場合、カキ養殖業者にとって収入の大幅な減少は避けられない状況です。今回の被害により、事業継続が困難となるカキ養殖業者が発生する可能性もある中、カキ養殖業者が安心して経営を続けられる環境整備が強く求められます。

本市においては、カキ養殖業者からの要請を受け、被害状況の把握や対策の検討を進めるとともに、広島県や近隣市町と連携し、事業継続につながる各種支援策の検討

を進めているところです。国においても、カキ養殖業者の不安を解消し、安全で安心なカキを安定的に生産できる持続可能な水産業の構築に向け、早急な対応が求められます。

よって、国会及び政府におかれでは、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

## 記

- 1 カキ養殖業者の不安を取り除き、事業継続及び経営安定に向けて、必要な予算の確保と財政支援を講ずること。
- 2 養殖カキの大量へい死被害の実態把握と原因究明を行い、カキ養殖業者に周知するとともに、へい死防止及び安定供給に向けた対策を講ずること。
- 3 消費者に不安を与えることのないよう、風評被害の防止に努めるとともに、関係機関と連携し、養殖カキのPRを積極的に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。